

秋の組織拡大月間 現在65人 11月21日

力あわせて、目標100人やり抜き、新たな峰築こう



写真はCU渋谷の「渋谷集会」11月11日、拡大も先頭に、13人達成。記事2面

2017年秋の組織拡大 組織人員1138人

10月から始まった拡大もいよいよ終盤を迎えています。10月は安倍内閣の政治の私物化、選挙の私物化で突然の総選挙になりました。組合員の要求実現の闘いであり、各支部で選挙に積極的に取り組み、組合員拡大と同時進行になりました。その中でも、組合員拡大で貴重な教訓、経験もつくられ、7月の定期大会後の足踏み状態にあった組織も、あらたな前進をつくり出しつつあります。

渋谷集会成功させ、拡大でも先頭に

CU渋谷支部は初めてのとりくみ「渋谷集会」(2面に掲載)の成功と、組合員拡大でもトップの



東京地評の荻原議長(右から2人目)、宮本副議長(その隣)がCUを激励11/9

拡大数で全体をけん引しています。

三多摩協議会では多摩稲城地域に地域分会をつくり、それを契機に地域で奮闘、この間多摩稲城地域で9

人を組織しました。

労働相談からの加入つづく

ユニオンちよだはすでに、目標に対し、3人超過の7人の拡大です。労働相談で次々と組合に迎えています。また、かつしかでは労働相談の解決が区労連でも話題です。この月間の中でも難しかった相談が解決、相談者から「本当に助かりました」と感謝の言葉が寄せられています。(写真右下、葛飾・岡野書記長と相談者の住友さん)

早期に1500人の峰越えよう

中期目標3000人の通過点とし、1500人を早期に越え新たな前進をつくりましょう。CU東京の組合の柱の活動・労働相談の評判、信頼が広がっています。同時にしっかり組合員を拡大してきたことも、広がっています。

100人目標やり抜き、新たな峰を築きましょう。新しい組合員の歓迎会など結びつきをつくっていきましょう。



「はたらくみんなの渋谷集会」 98人の参加で大成功

CU渋谷



「人間らしく、自分らしく」

11月11日、千駄ヶ谷区民館で開催された第一回渋谷集会は、24回の実行委員会を重ね、「地域につながる女性の争議支援交流会」などのプレ集会や渋谷駅前でのラップのリズムで訴えた「最賃1500円」「実態調査」などの活動、多くの団体や一人一人の「人間らしく、自分らしく」という思いを結集して成功しました。

集会の中心は、「労働問題あるあるコント」と久保木弁護士の「コントへのコメント」労働時間問題のお話です。コントは河合塾ユニオンの竹中さん脚本・演出、実行委員会メンバー9人の熱演により見応えがあるものになりました。

12団体個人から、それぞれの思いが

各団体の訴えは、JAL争議団、ニッタン労組、あかつき印刷労組、医療団体、新婦人、民商、社保協など12団体個人から、それぞれの思いが語られました。CU渋谷は、委員長の伊藤さん、書記長の海崎さんから、集会への思いやCU東京への協力の呼びかけがあり、組合員の金子ますみさん、下田敦史さんから自分の経験やCU渋谷に対する思いが語られました。

司会は代々木法律の五十嵐さん、あかつきの酒井さんが、開会あいさつは実行委員長の原田さん、閉会は区労連議長の田辺さんが行いました。

第二部では、40人が参加し、それぞれ感想を述べ、民商の斎藤さんのアコーディオンで「みんなで歌おう」が和やかに行われ閉会となりました。

CU渋谷は一人前の人間として扱ってくれた

下田敦史さんは「僕は、障害が原因で長時間働くことができません。そんな半人前の自分を、このCU渋谷は、一人前の人間として扱ってくれます。人間らしくあるということは、自立して暮らせることです。自分らしくあるということは、自分が



自分を認めてあげられることです。一緒に考えてみませんか」と発言しています。

集会で、個人争議を報告した、紺野茂樹さんが、集会が大変良かったと感想を添えて「CU東京」へ加入しました。

世直し雷大行進 11月19日

東京東部7区の中小零細企業者、労働者、市民団体と労働組合は、協力し、消費税反対などをかけ闘ってきた30年あまりの歴史があります。

消費税10%増税やめろ！世直し雷大行進は、11月19日、寒風が強く寒い日でした。CUかつしかからも、8人が参加しました。浅草の花川戸公園に集まり、浅草寺を中心とする商店街を大きくを1周する約1時間のパレードです。恒例になったチンドン屋さんも参加し、仲見世商店街や路地裏まで入り宣伝行動もおこなわれました。

雷門前では、先頭のチンドン屋への注目は抜群で、観光客、外国人のカメラがたくさん向けられ、私たちのパレードもアピールを十分できました。



CU葛飾 岡野 記

多摩・稲城の組合員拡大 地域分会をつかって前進

CU三多摩協議会

10月以降、新たに9名の組合員を迎え

CU多摩・稲城分会では、今年10月以降、新たに9名の組合員を迎えました。5名は保育園の正規の保育士の人たち。職場に労働組合が必要と考えていたところ、駅頭宣伝でCUのパフレットを受け取ったことがきっかけで、1年かけて仲間を募り、加入したものです。その他の4人は、「多摩生活と健康を守る会」の労働相談や地域のつながりなどで加入してきた人たちです。



加入の動機はそれぞれですが、職場に労働組合がないこと、安心して働き続けるためには労働組合が必要だということでは共通しています。

生活問題と労働問題は切り離せない

CU多摩・稲城分会長の鈴木鉄夫さん（多摩生活と健康を守る会副会長）は、「すすむ地域の貧困化のなかで、生活問題と労働問題は切り離せなくなっています。分会を作って感じることは、身近に労働組合を作ることによって救われる人がたくさんいることです。多摩・稲城分会は、年内に50名の組合員の達成をめざしています。目標まで、ほんの一步です。」と決意を語っています。（三多摩ニュースより）

第1回ランチ交流会

CU中野支部



11月19日、CU中野支部は結成から7か月を迎え、第1回ランチ交流会を開催しま

した。中村委員長の挨拶で乾杯、CU東京、東京土建中野支部の挨拶の後、参加者の自己紹介と意見交換をしました。

ブラック職場で働いた経験から

以前にブラック職場で働いた経験から地域の労働組合の必要性を感じていたという意見や、駅前での宣伝の時に話しかけられたり、通り過ぎてから戻ってきてビラを受け取っていく人が多いことなどが話されました。

女性の組合員を増やそう

労働相談から団体交渉へどのようにすすめるかという質問も出されました。宣伝について、平日だけでなく土曜や日曜なら参加できるとか、もっと組合を大きくして地域での認知度を上げていこう、女性の組合員を増やそう、など前向きで積極的な意見がたくさん出され、大いに盛り上がりました。12人が参加しました。

～～雇止め撤回・謝罪～～

PCコンサルタンツ（株）の雇止め問題が解決しましたのでご報告いたします。

有期雇用で勤務している女性2名が雇止め通告をされたのを受け、11月8日に第1回団体交渉をおこなったところ会社側は雇止めを撤回してきました。さらに雇止め通告の際のハラスメント行為についても謝罪がありました。

この問題の背景には法改正による無期転換権（2013年から継続して5年勤務）の行使を阻止することが会社側の目的であったことが推測されます。来年の契約更新時にも組合として注視していきたいと考えております。

=====
ユニオンちよだ
10～11月度争議報告
より
=====



創立70周年「土建祭り」 参加者にCU東京を訴え



秋晴れの11月12日、組合創立70周年の土建祭りが稲城市の「よみうりランド」で開かれ、1

万人を超す参加者（主催者集約）で埋め尽されました。メインステージでは謎かけ芸人のねづっち、ものまね芸人の青木隆治さん等が熱演し、会場を盛り上げていました。CU東京は本部役員や三多摩関係者から参加、東京地評テントでの交流と東京争議団・JAL争議団の支援物資販売に協力。

支部・団体のテントへ、挨拶と協力をお願い

高木書記長を先頭に各支部テントをまわり、挨拶とCU東京の組合加入の協力を訴えました。CU東京組織が1100人を超し、労働相談で実績を積み上げて来た事で、



組合の認知度が高くなったと感じました。引き続き、土建各支部からの支援をお願いしていきます。

「9条改憲ノー」4万人が国会を包囲

安倍政権による憲法9条の会見に反対する行動が11月3日、全国で取り組みました。国会包囲の大行動には4万人が詰めかけました。



CU東京は組合員に呼びかけとともに参加しました。写真は三多摩協議会の組合員、左から福田さん、尼崎さん、宮本さん。

東京ディズニーリゾート コーポレートプログラム利用券を 知っていますか？

全労連共済を活用しましょう

CU東京では、東京労働共済会に加入し、全労連共済の各種共済を組合員に案内しています。労働者・組合員の助け合いで安い掛け金で保障します。生命共済、医療共済、自動車共済、火災共済など揃っています。ぜひ、一度、検討してみてくださいはいかがでしょうか。

ディズニーリゾートの「利用券」をCU東京の福利厚生の一つとして助成しています

東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム利用券（割引）を案内します。

☆利用券（1000円の補助）

（有効期間は2017年4月1日～2018年3月31日）

☆組合員は、ディズニーランド、ディズニーシー



のパークチケット購入の際に「利用券」を利用者一人につき一枚（1000円の補助）利用できます。

☆組合員は利用人数分の枚数を支部へ申し込みます。利用券は、申し込み枚数が、本部より組合員本人の住所へ郵送されます。利用券は、年間5枚（人数、回数の合計）が上限です。

■CU東京の労働相談活動、組合員拡大活動に関心が寄せられています。各支部で、取り組まれているように、小さな相談でも大事に、労働者に寄り添い、一つ一つして解決している姿が広まっています。■もう一つの柱、組合員拡大で結成以来、9年間、着実に実増を積み重ねてきた事。この秋の拡大にも表れています。すべての人に理解を広めて拡大する点も特徴。■全神奈川地域労組協議会大会に参加。CU東京にも関心を寄せ、報告でも紹介されました。神奈川労連議長、地域労組協議会委員長と握手。地域労組の役割を確認、奮闘を固めあいました。

